

平成30年9月7日

保護者の皆さまへ

薩摩川内市立海星中学校
校長 淵上 盛人

生徒作文の新聞掲載について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと拝察いたします。かねてより、本校教育活動について御理解と御支援を賜り感謝申し上げます。

さて、9月7日（金）の南日本新聞『若い目』の欄に、3年生の村尾翔夢さんの作文が掲載されましたのでご紹介いたします。

若い目

離島甲子園に出場

海星中3年

村尾 翔夢

今年の夏、僕にとつて大きな行事が一つありました。一つ目は陸上の県大会です。その日は朝から晴れていましたが、自分が走る組になると視界が悪くなるほど雨が降り出しました。入賞は逃したものの、自己ベストを更新することができました。

二つ目は離島甲子園です。離島チームとして3年連続の出場でした。今年は背番号1のエースピッチャーを任せられました。練習とに調子も上がり、とても良い状態で試合当日をむかえました。広島の大崎上島に2対10で負けてしまいましたが、悔いの残らない楽しい試合ができました。

二つ目は離島甲子園で、たちの残念そうな顔を見て心から反省し、始業式にはしっかりと宿題を終わらせ、しっかりと勉強にも取り組み、憧れの高校合格を目指したいです。

2学期は、小中高同運動祭など、たくさんの行事がありました。常に積極的に行動して、3年生として、また生徒会長として後輩たちを引っ張っていきたくです。また、部活動引退で限内に提出できなかった宿題が多くなりました。先生、しっかりと勉強にも取り

（薩摩川内市）

